

分科会 1

運営委員：土橋 正文（和泉短期大学）

■分科会研修 1日 7月1日(水) 16:00 ~ 17:30

- ・分科会オリエンテーション、今回の研修スケジュールを確認
- ・各短大自慢および自己紹介(1人2分)で行う ⇒ 各人が作成してきた自己紹介・大学自慢(A4)両面。18名の参加者により、予定通り、40分で終了。 大学グッズの交換も行った。

全体会と同じ4グループに分けて、早速、各自が自大学の元気のもとについて話し合ってもらった。今回の分科会は、短大プロパーであり、同規模の短大が多かった。基調講演、スキットを踏まえてのワークショップですでに参加者同士のコミュニケーションが十分取れていた。特に、広報委員によるスキットは、日常業務において、「あるある」だったので好評であった。

- ※ 事前に課題として、分科会メンバーにメールを配信し、自己紹介シートの作成を依頼、すべての方がシートを作成し、返信メールをしてくれた。とてもいい雰囲気で行うことができた。

■分科会研修 2日 7月2日(木) 13:00 ~ 15:45

- ・1日目に引き続き、2日目午前中に事例報告として「ユニット自由選択制とその広報」、「今、高等学校で取り組んでいること、取り組まなければならないこと」講演を通して、参加者が自大学の教育体制と元気のもとを共有してもらおう。BS法、KJ法により、各自が元気のもとをポストイットと模造紙に書き出して、元気の肝を追究した。
- ・他の分科会を見学。分科会ごとにカラーや雰囲気の違いを感じた。

15:50 ~ 17:00 4グループによるプレゼン

- ・4グループによるプレゼンを5分間でしてもらい、各グループから他のグループのプレゼンに対して 評価をしてもらった。各グループは、どのようにしたら短期大学が、学生が、教職員が元気になるのかを、キーワードで強調してくれた。

その後、再度グループに分かれて、振り返りをしてもらった。

- ・最終日の全体会での分科会1の発表に備えて、プレゼンのグループ代表者とグループの発表順を決めた

■分科会研修 3日 7月3日(金) 9:00 ~ 11:15

- ・最終日のスケジュール確認を行った後、グループに分かれて3日間の振り返り、グループごとのプレゼンの確認を行った後、分科会1としてのプレゼン内容について代表者によるミーティングを行った。

また、プレゼンの結論のイラスト作成を行い、4回プレゼンのシミュレーションを行い、内容の微調整を行った。

- ・参加者2名は、学務多忙なためやむを得ず、本務校に戻ったが、運営委員も含めて、分科会1の参加者に1分間の研修会に参加しての感想をしていただいた。



11:30 ~ 12:30 全体会

6分科会による5分間の発表を行った。各分科会とも趣向をこらしたプレゼンを行った。

残念ながら、本「分科会1」は、3位以内の表彰には選出されなかった。しかし、まとまり、チームワーク、雰囲気は、わたくしにとっては1番であった。

〈研修会の振り返り〉

- ・分科会1の参加者は、短期大学プロパーであり、大学の規模、経験年数、男女、年齢、地区、役職などを考慮し、グループ分けを行ったため、とてもいい雰囲気、参加者の満足度が高かった。
- ・自大学の課題や他大学の状況が分かり、有意義な時間を過ごせた。
- ・参加者同士のネットワークを広げることができ、今後も仕事に活かせる。
- ・短大の研修会としてはとても充実した時間が過ごせた。次年度も参加したいという方が多かった。
- ・他の大学職員と短大の諸問題について情報交換できた意義は大きい。

など嬉しいご意見をいただきました。

今回の運営に関しては、分科会1の参加者は事前メールにも全員が反応してくれ、感想も「本研修会も、夜の研修会も」満足であったとの声が聴け、私が今まで担当した中でも一番いい分科会ではないかと感じた。また、研修会の目的である『みんなで作る元気のもと』を共有でき、この元気を職場で活かしてくれ、新たな一步を踏み出していただくことを切に思う次第である。分科会1の参加者の一致団結した熱い想いと短大広報担当者研修会の存在意義が素晴らしいことを改めて感じています。

